

令和6年度
介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月4日～11月11日



～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
大阪支部



掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了おめでとうございます



修了者へ贈る言葉

令和6年度介護労働講習、修了おめでとうございます。

6月4日の開講式から5ヶ月余りの間、多様化する介護ニーズに的確に対応できる、質の高い介護の担い手となるべく、専門的な職業人としての基本姿勢や基礎的な知識・技術を学び、11月11日の「介護の日」に修了式を迎える運びとなりました。

それぞれが様々な事情や悩みを抱えながらも、日々頑張り続け、挫けそうになった時にもチームとして助け合い、励まし合うことで、修了という目標を達成した輝かしい皆さんの姿を見ることが出来、嬉しく感じています。

105日間、本当に頑張った！

ただ、ここからが新しいスタートです。多くの方の支えと感謝の気持ちも決して忘れずに、この期間に培われた様々な体験をもって、3年後には介護福祉士試験にチャレンジし、介護労働の将来を担うリーダーとして大きくステップアップしてください。

これからも介護労働安定センターは、皆さんを応援し続けます。

大阪支部職員一同

講習風景

開講式



講義風景



就職支援



生活支援技術



医療的ケア演習



講習風景

介護過程Ⅲ 実技



レクリエーション



修了式



講習を終えて

今年は16名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

半年間、介護を通して様々なことを学んだ。金曜日の授業が終わると寂しく、月曜が待ち遠しかった。**人生の中で一番充実した日々だった。** (50代男性)

自分自身を見つめなおすことができる場所だった。ここで介護・介護業界について学べたこと、**これからの自分の生き方について一生懸命考えたこと、この講習と出会えて本当に良かった！** (60代男性)

この講習を通して、6月にスタートした時には気づきもしなかった自分に出会うことができた。ここで学べたこと、出会えた仲間は自分にとっての一生の財産。たくさんの訓練があった中、ハローワークの方に**一番厳しいと言われたこの介護労働講習を選んだこと、本当に良かったと思う。** (40代男性)

あっという間の充実した105日。ここにくるとホッとした、集中して勉強ができた。振り返ってみても後悔することはまずない。**できることなら来年もここで学びたい。** (50代女性)

圧倒的な、充実感

50代の私にとっては親の介護が現実的に迫っていて、不安と心配でいっぱいスタートだった。カリキュラムは想像以上に魅力的で、先生や仲間にも恵まれ最後までやり遂げることができた。これから長い職業人生、自身の心身の健康を整え、無理しすぎず、バランスを取りながら**10年後も介護業界に携わっていたい。** (50代女性)

今まで生きてきて、知らなかったことを学んだ。考え方、**人との接し方が確実に変わった。**これから新しい世界で働いていくための力をつけることができたと感じている。 (60代女性)

この業界にかかわるすべての人を尊敬する。職場環境の改善など、**きっと私にもできることが山ほどあるから楽しそう、やりがいの宝庫。**一年後は介護職として独り立ちし、3年後は介護福祉士、5年後は社会福祉士の資格を取りたい！ (40代男性)

この年からできるだろうかと不安もあったが、**やり方により長く続けられるやりがいのある仕事だと実感した。**

勉強は「暗記」ではなく「**根拠を理解する**」ことで『あ、このことか！』と現実の事柄と結び付けられたことが多々あった。**60代の私でもじっくり取り組めた** (60代女性)



就職先を訪ねて



櫻井さん

令和元年度 修了者



介護の仕事に就かれた感想は？

現在、特別養護老人ホームでユニットリーダーとして勤務しています。ユニットによって、それぞれカラーや雰囲気は違います。限られた職員数ですが、メンバーがいかに生き活きと楽しみながら連携・協働できるかにより、チーム力は何倍にも変わります。メンバーひとり一人の力をどのようにすれば引き出せ、能力発揮ができるのか、どのように環境をつくり、どのように皆でチームワークを構築していくのか等を任されており、リーダー職のやりがいを日々感じています。

介護労働講習で学んだことは？

正直に言うと、たまたま受講を決めました(笑)、この講習に出会えて運が良かった。

受講してみて「介護という仕事」に対しての考え方が根本から変わりました。目の前のただ「仕事」としての介護から、視界が大きく開け希望ある未来が見えました。

「介護労働講習」はただ『実務者研修』を修了するための基本的な講習ではなく、介護業界にすぐに適応できる、そして現場で臨機応変に未永く活躍できる、そんな人材育成のプログラムだと実感しています。

介護労働講習についてのご感想は？

介護労働安定センターの先生より頂いた「これまで生きてきた全ての経験が無駄にならないのが、この介護の業界。自分次第でその全てを介護の専門職として活かせる」が、私が最も大切にしている言葉です。

その言葉通り現在の職場でも、また人間関係を構築する上でも、これまでの自身の人生における様々な経験を活かしていると感じながら、勤務しています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

現場では、当然ながら技術や知識が必要ですが、最も重要なのは「人間力・対応力」だと実感しています。

私は福祉業界での経験がいくらあっても受講でしたが、経験があろうとなかろうと、この学びの場では関係ありませんでした。知識や技術を超えた人間力を学び磨く、一日も無駄のない105日間でした。

更にここで受講すると、この先もずっと続くかけがえのない同じ想いの仲間との、貴重な出会いがあります。

介護が初めての方も安心して自信をもって飛び込み、様々な体験を重ねて充実した日を過ごして欲しいと、現場から応援しています。私も可能であれば、今からでももう一度この講習に通いたいと思っています・・・！

事業主さまから一言

特別養護老人ホームさくら園
園長 藤川 佳良子 氏



普段の仕事ぶりはいかがですか？

たとえ困難な状況であっても、どうすればいいのか、粘り強くとことん対話し向き合う、櫻井さんの姿勢を尊敬しています。今後の彼の活躍を大いに期待しています・・・！！

これから受講される方へメッセージをお願いします

現在この講習の修了者の方が、櫻井さんを含め3名働いています。彼らは介護現場の実情をよく理解しており、職場での適応力の高さを感じています。「介護労働講習」では、介護の基本、利用者の方だけでなく一緒に働く職員とかわる姿勢まで、介護の現場で働くためには何が必要かを教えていることがわかります。彼らの前向きな姿勢に心動かされ、私自身もこの講習を受講してみたいと思っています。

この業界で働いてみたいと思っている方は、この介護労働講習の受講から始めることを、自信をもって推薦します。